あげて因島高校を応援してい

全戸配布していただいていま

くためには、

いろいろな活動

立ち返り、子どもの潜在能力

た。これからは教育の原点に

言ではないと思います。

をのばし、子どもが安心して

人学できることが大切です。

しい人材を送り出してきまし

因島高校は、今まですばら

ていくかで、その後の人生が

うことは将来心配です。

大きく変わると言っても、

の教育力、そして三番目に、 技術力」、つまりプロとして

地域の支援」だと思います。

力」、そして二番目に、「教育

まず一番に、「高校生の努

にかかる先生方の意識、熱意

(1)

をどうもたせるかが重要だと

村上高P 子どもの目的意識



発 行

島 高 校 を援 する会 竹中啓修 竹中啓修 入会のご案内 みなさんのご支援ご協力を よろしくお願いします。 入会及び入会金の受付は 下記へご連絡下さい。 因島高校PTA事務局

会長 題字 重井校舎(赤畑教頭) ☎08452-4-1281

対する思い、また、因島の将来をになう若い人たちに対する市長の思いについて、お 八月十三日 (月)、 市長を訪問し、因島高校に期待すること、市内小中学校教育に 因 因島市PTA連合会長 支 正 宏 則 土生校舎(藤本教頭) ☎ 08452-2-2133

うございます。特に、全市民 支援ご協力いただきありがと 因島高校の再生に向けて、ご の顧問に就任していただき、 には、因島高校を支援する会 聞きしました。(インタビュアーは、因島高校PTAの村上正則会長と、因島市PT A連合会の村上宏会長が勤めました。 両名とも因島高校を支援する会の副会長です。) はじめに市長さん 協力により、市広報とともに 広く協力を仰ぐことが大切で および因島市区長連合会のご や取り組みを市民にPRし、 すが、そういうことからこの 支援する会」の会報を、市

因島高校に期待することについ

ることについて聞かせてくだ 村上高P 因島高校に期待す

てみようと思いました。 も開けてくる。」と言われま 強しておけば、後々の自分の する過程が大切なんだ。 今勉 き、先生に「勉強しなくちゃ した。それで、とにかくやっ 人間形成に役立つのだ。 未来 いけんぞ。 結果でなく、 大切です。 私が高校三年のと 市長 先生の言葉というのは

ポイントがあると思います。

どう生かすかですが、三つの す。その恵まれた教育環境を の立派な校舎が完成いたしま 市長 まもなく県内でも有数

村上市 P 先日の新聞記事 **ト結果なんですが、** 中高生に聞いたアンケー

ですね。 思いますが、

よ。 先生がどう子どもを導い 先生の一言は大きいです

いか。 国のために何か貢献した

すことに、感謝いたします。 なかなか難し T



アメリカ、韓国 日本四〇% 七0%

心、つまり公共心がないとい 域に対して何かしようという 享楽の思想が強くて、国や地 人生の目的で最も大切な 楽しんで生きること ことは、何ですか。 日本 六〇%以上 高い社会的地位や名誉

すよ。 国のために何かすると なにもあったもんじゃないで 壊されていますが、モラルも 電池の照明灯など、ほとんど 化センター に通じる道の太陽 もが増えている。 芸予情報文 村上高P 公共心がない子ど 人のために尽くすとか以

> らったほうが教育になると コンビニでアルバイトしても ている。東京のある学校では、 ました。」と立派な応対をし いませ。」「ありがとうござい 前の問題だと思います。 か、言ってるそうです。 は、大きな声で「いらっしゃ 高校生もアルバイト先で

民間の意識が入ってきてきっ ね。これは見聞を広めたり、 研修するようになりました 教育現場だけでなく、民間で とプラスになると期待してい 村上市P(先生方も、学校や

とばかりめだちますからね、 でも悪いとほかの人がいくら 教員も市の職員も外の空気に という声がありました。 一人 います。市民から応対が悪い ら接遇マナー 研修を実施して 触れていくことが大切でしょ

気よくなりましたよ。

市長 ありがとうございま

小中学校 教育 に つ 61 て

育の現状についてどう思われ 村上市P 本市の小中学校教

ますか。

歌っているが、他の先生方は ですが、国旗国歌は励行され 歌っている。 これは不自然で 口をつぐんでいる。それが次 斉唱のときは、校長、教頭は るようになりましたが、国歌 市長 最近の入学式・卒業式 たちがこういう姿を見て、 はないかと思います。 子ども 大きな口をあけて力いっぱい に校歌斉唱となると、先生が

ば、当然かもしれませんね。 粗末にする教育を受けていれ 揚のとき帽子をかぶったまま ら非難の声もありました。学 の日本選手がいて、諸外国か すが、オリンピックで国旗掲 実に改善が図れているようで 着席したままでしたから、着 村上市P 以前は起立せずに 校で子どものとき国旗国歌を

うな教育は間違っていると思 います。長い歴史の中で培っ の道徳、倫理観を否定するよ てきた日本のいいところを否 日の丸、君が代、日本

> 一生懸命やっていても悪いこ 市役所の職員も昨年か

村上市P 最近市役所の雰囲

定する、ここに大きなひずみ することなどが大切と思いま がでてきたと思います。 つ、親や年長者の経験を尊重 自分の国に対して誇りを持

います。 問題点もあったでしょうが、 にされてきたことが問題と思 戦後こういうものがおろそか 戦前の教育には、

ろは、先生のいうことが正し の教えは間違っていたんじゃ いと思って聞いている。 村上高P 子どもも小さいこ して先生の言うことを信頼し ないかと気づく子もいる。 そ 高校生のころになると、先生



本市の

か、市内小中学校のそれぞれ いしまして、 にしてほしいですね。 わかっていることはオープン の学力の平均はどうなのか、 んでいるのか、遅れているの したが、因島は教育の面で進 の学力テストをしてもらいま 村上市P 学校のほうにお願 小学生、中学生

い方向に進めていかねばなら そして、保護者と一緒にい

将来の因島に対す る市長の思い

が伝えていけるし、目上の人

れば、若い人たちにいい文化

を敬うということが身につい

ていくでしょうね。

村上高P 長の思いを聞かせてくださ 若者へ因島の未来について市 将来の因島を担う

っと拡大充実させたいと思っ 因島技術センター をも

これるものを作りたいと思

いう海路もある。 将来は交通 高速道もできる。 瀬戸内海と り、将来は四国から山陰まで

しまなみ海道あり、山陽道あ

交通アクセスについても、

の要になりますよ。

市の発展にどう結び付けるか 材も豊富です。 これらを因島 術が蓄積されていますし、 が重要です。 因島市は、長い間の造船技

今年度中に重井町に商工業

なくなる、これは悲劇ですよ。

持ち込んでいた傾向があっ 指導要領を遵守していくべき と公開の原則に立って法律や た。しかし、これからは中立 団体の思想信条を教育現場に 村上市P 今までは先生方 自分または特定の組織や

思っています。教育も行政も 結果、正しい政治が行えると いて正しい判断を行い、その いっしょじゃないかと思いま てほしい。正しい情報に基づ ています。 正しい情報を伝え いことを正しく教えてほし い。私も常々市の職員に言っ 市長 先生方は学校で、正し

ださい。 統合が必要なのか聞かせてく 上市P なぜ今小中学校の

す。てはならないと思っていま 働く中で、教育していかなく の中で、すなわち競争原理が 市長 子どもたちも一定規模

進めていくことが必要です。 市民の一定の理解を得ながら 学校を統合していくには、 育予算は惜しむべきではあ

ってお用の施 や働く場所を提供するのが 手伝いして、若い人が帰っ みなさんがそれをいかに活 設や建物は市が作り、市民 地も完成します。 若い人た するかです。市が積極的に の役目だと思っています。 が、しっかり活躍できる場

因島は四季を通じて大変良い

ほかの地域と比べても

ところだと思います。

います。 まれるところ、交流ができ それから、若い人が気楽に ています。

思っています。これは、近隣

島には、島の文化があると

の町村長の考えも同じだと思

います。自分の郷土に誇りを

なものですね。
村上市P 青少年会館のよう 同じ建物にして、老と青い

とを愛する心を持ってほしい 自分の生まれ育ったふるさ

れるものがあるか、何が作れ

るか。 考えていかねばならな

いでしょうね。

もてば、帰属意識を十分感じ

てきます。そして、因島で誇

いかも知れませんね。そうすっしょに集まるというのもい

小中学校の 統合に つ 61 て

りません。 恵まれた環境の中

出て行って保護者の生の声を たが、PTAの会合があれば TAの役員から遠ざかりまし いでもあります。 える。それが学校統合のねら ただけるよう、教育環境を整 思い出をいつまでも持ってい で学校生活をおくり、楽しい 私も子どもが大きくなりP

聞きたいと思っています。 って、子どもたちの教育環境 の整備に役立てていきたいで いろんな話を聞かせてもら

ち保護者として頼もしく感じ 因島市民のためにご活躍をお ました。 これからも、 私たち いろんなお話が伺えて、私た ございました。 市長さんから 村上高P 今日はありがとう いいたします。

ばよいかを二点にまとめてみ

学力向上のためにどうすれ

かも最大の支援になるという ることがもっとも重要で、し

くてはいけません。

ハは夢や希望があるからチ

望について語れるようにしな は、子ども達が将来の夢や希

生の前学年の学習内容の定着 す。そこで、二年生から六年

ことだといえます。

考えましたが、それは学力の

ばならないかということを

基礎基本の定着度を向上させ

学校教育で何をしていかなけ

話し合いを進めていく中で、 員会等に出席させていただき

学力もついてきます。 だから 身についてきますから、当然

考えています。

次に第二は、具体的に学力

実現して行くことが重要だと 的に活動する子ども達の姿を 向けて夢や希望を持ち、意欲

育てば、根気強さ、集中力が

子ども達を生き生きとした活

気のある意欲的な姿に変えて

いくことが大切です。

さらに意欲を育てるために

実態を把握することが必要で

くために、子ども達の学力の

す。この取り組みを進めて をつけるための取り組み 因島高校を支援する会の役

因島高校を支援するために小

(2)

間関係づくりを大切にして意

私の好きなこれら三つの言葉

にあるように、 夢や希望を語

欲を育てることです。 意欲が

持ちが前に向く土台となる人

まず第一は、子ども達の気

夢や希望がその人の人生を

上のための取り組みの方向性 整理し、明確にして、学力向 診断テスト実施のあと課題を テストを実施しました。 学力 ご支援をいただき、学力診断 初に市教委、PTAのご理解 **度を把握するために、年度当**

課題解決のための取り

夢や希望が人間をつくる

レンジする

イン講座はじ 補習授業・勉強合宿

とも夏季特別講座が実施され各教科に分かれて熱心 に受講しました。 七月二十日より、夏休暇となりましたが、各学年

全学年で実施

習授業、「サテライン講座」 実した夏となりました。 また二泊三日の勉強合宿と充 来春の進路決定を控えた三 夏休暇前半後半の補

当の先生は「生徒は四苦八苦 大学の入試問題が解けたりし ながらもセンター 試験や有名 す時期に入り、全員真剣なま た。」と話していました。 なざしで取り組みました。 には少しずつ力がついてき 何ヶ月か続けてきた生徒 実践的な入試問題をこな 学期から続く補習授業

補習授業が実施され、数学四 ありました。 夏季補習の勢い 語・一般常識・美術について を持続させ、二学期からは早 八名、英語三七名等の出席が |年生は、数学・国語・英

因島高校と支援するために

因岛市立土生小学校校長 村

田

積 穂

うことです。つまり、

将来に

りあう中で意欲がもてるとい

れています。朝補習、放課後補習が計画さ

英語・国語について土生校舎 夏季補習が計画され、数学・ にて実施されました。 なお、今年度から一年生も

(衛星放送)(衛星放送)

が受講しました。「 難関校の 三教科とも三〇名を越す生徒 施され、英語・数学・国語の 休みに引き続き、夏休みも実 イン講座」(衛星放送) は春 「 代々木ゼミナー ルサテラ



た。」と教科担任の先生の弁。 きさせないようになってお あっさりと正解に導き、 生徒にも好評。 も笑いを織り交ぜ九○分を飽 八試問題も代々木ゼミ講師が 我々先生も勉強させられ

講した生徒は、「難しい問題 予備校に行ったのと一緒だ。 をわかりやすく説明してくれ 学・国語の三教科実施され、 講座」に引き続き、英語・数 てよく理解できた。」「東京の 各二〇数名の受講でした。 受 といった感想がありました。 二年生も一学期の「小論文

勉強合宿

訪れますよ。」と話していま 習し、お互い切磋琢磨し学力 は、がんばっただけの結果が て暑い中をがんばった生徒 を高め合うことをねらいとし 間勉強の合宿をすごしまし 泊三日の日程で、一日一〇時 は、「 やりたいことも我慢し ています。 進路指導係の先生 た。勉強合宿は、集中的に学 六日より福山の研修所にてこ 三年生は、盆明けの八月十

ました。

▲勉強合宿のようす

合宿激励

会長始め四名の役員が、三年 生の勉強合宿先を激励に訪 因島高校PTAでは、 生徒の生の声を聞きまし · 村 上

になった。」「周りの人を見る なかったが、勉強する雰囲気 と刺激になる。」「自然の中で 「今まで勉強の癖がついて

何かを明らかにします。 さら 引き続き課題としてあるのは 程度はかれたかという成果と を実施することにしていま みを進めます。このような一 す。そこで、課題解決がどの 組みを全校で一体的に進め、 に、課題解決のための取り組 年後にまた学力診断テスト

ることになる学力をつけるた 解ご支援ご指導をどうぞよろ 学力向上のための具体的な取 り組みを進めていきますが、 めに、子ども達の意欲を育て、 しくお願いいたします。 みなさま方のご理

> 感謝の言葉と現状報告があり 拶がありました。 来賓の桶東 全速力で進んでいる」旨の挨 校長から、同窓会の皆様への

予文化情報センター

が、八月十四日、芸

因島高校同窓会

にて、盛大に行われ

る会に一〇万円寄付をいただ きました。 ありがとうござい 今年度同窓会実行委員会

かった。二年からあったらも 休みはじめがいい。」「春の合 っと勉強できたのに。」「家で 宿で、勉強の習慣がついてよ 落ち着いて、勉強できる。 やろうとしてもできないの 盆頃にあったが、時期は夏 合宿はよかった。」



▲PTA会長、 生徒と懇談

りになり、残念であった。こ れからは、早めに先生方と保 画準備に間に合わず実施見送 も先生に相談申し入れした 早くから身につけさせるため 待したい。また、学習習慣を 護者が相談して進めて行きた に、二年の勉強合宿につい は、生徒にも好評で今後も期 村上会長は、「サテライン 夏休み直前で先生方の計

い。」と話していました。

でてくるものと確信してい くことで、かならずや成果が 連の取り組みを積み重ねてい 000000000000000

最後に、因島高校を支援す ました。保護者に加えて、 等から参観者がありました。 援する会、教育委員会、区長 重井校舎にて参観日が行われ

北高校十三回生)より支援す 旧因島高校三十回生旧因島

の皆様からの協力に 兼任)から、「会員

支援する会会長を

竹中同窓会会長

力ある高校に向けて より、因島高校も魅

神戸商船大学 俊

と企画中であります。

考えると確かに早かったと思 それだけの情報が手に入るだ ればいいのかわかっていた。 学の学生募集要項を取り寄せ 充分とれたのではないか。 るのでは」と思うだろう。今 二年からしていた。「早すぎ 頃ではないだろうか。僕はと けでも自分にとっては、大き そ、その志望校の入試対策が う。しかし、早かったからこ いうと、志望校の選定は中学 う。早くても二年生の終わり 望校を選定していくだろう な教科を選んで、何を勉強す などを知ることができ、どん **志望者の変動、試験の難易度** 校一年の時からすでにその大 三年生になってからだと思 ていたため、 みんなは、いつの頃から志 たぶんおおかたの人は、 入試科目、入試

だろうか。 そこで、みんなにアドバイ

なプラスになっ たのではない

地域の人も変えて参観目開かれる

設備がすばらしい」「授業態 六月三十日 (土) 土生校舎 C 支 がありました。 度をもっと厳しく指導したら

礼を言われ、感心した」「通 どうか」「授業参観後生徒に 学時自転車の信号無視が多く なっているか」等様々な意見 て危険だ」「携帯電話はどう 校長は参観の礼を述べ「皆さ

参観後、懇談会があり

市コ推協、中学校、

台 体

ではすまされない。 だからこ

そ、選択科目は慎重であって

していなかったでは、笑い事

布し、勉強の役にたたせたい 員の分を文書にして生徒に配 す。ここに一人紹介させてい の勉学の参考資料にしていま 方、受験勉強のこと等々、 合格体験記」を書いて後輩 因島高校では、毎年卒業す 高校在学中の勉強の仕 決めておいた方がいいだろも、最低でも高校一年の間に頃から、とまではいかなくて う 期に決めておけば、あまり悩 選択科目も増えてくるが、早 まずにすむ。 路を早い時期に決めておくこ)だ。僕みたいに中学二年の として言っておきたいこと 学年があがるにつれて、 まずだいたいの自分の進

ただきます。PTAでは、

白 言葉をたびたび聞く。また、 たのだろうか」という後悔の こんな教科を選択してしまっ ある人曰く、「自分はなぜ 分の志望校を絞ってみた 入試に必要な教科を選択

う

(平成十三年三月卒業) (紙面の都合により一部略)

になるのは間違いないだろ るときに、それは大きな武器 ば、いつか自分が面接を受け

った」という思いがもしあれ て何よりも、「昔からの夢だ どが容易に見えてくる。そし

の職業が決まれば、進学先な

いかを考えればいい。 もしそ

自分が将来何の職業につきた

ある。それが難しかったら、 期に進路は決めておくべきで 推薦で受験するにしても一般

最後に、くどいようだが

で受験するにしても、早い時

•••••• 中民の書籍

している子もいれば、ただた

い高校です。国立大学を目指

り因島高校は学力差の幅の広

っていますが、ご承知のとお

だ卒業だけを目指している子

かなか教えられない面も有り 中でのルールは、家庭ではな 明と思いますが、集団生活の いです。これは家庭教育の問 ない、交通ルールを守らないてる、公共のものを大切にしえば、道路に平気でごみを捨 きないものでしょうか。 学校の中でもしっかり教育で **ざす。道徳教育の授業などで** 最近若い人たちの公共マナ の悪さが目につきます。例

(中学生の父親より)

私の子供は現在因島高校に行 努力に深く感謝いたします。 支援する会のみなさまのご

の意見を参考にしてより良

高校をめざしたい。」と結



(因島高校の保護者)

度別のクラス編成をしていた

います。来年からでも、習熟

授業を受けたほうが良いと思

お互いに充実し満足する

クラスで勉強をするのでな

学力的に差の有る子が同じ

使わせるのはもったいない。 備が充実です。 高校生だけに いでしょう。 そうすれば、高 下されば、どんなにすばらし 今、生涯教育が叫ばれていま 専門教室等々、すばらしい設 科実験室、防音音楽室、書道 聴覚教室、介護実習教室、理 のではないでしょうか。 生方が、われわれにも教えて す。これらを使って高校の先 気運が更に盛り上がってくる しました。パソコン教室、視 先日高校に行ってびっくり 先生と地元がより溶け合 高校を支援しようという

(一市民より)